加盟病院のキラリと光る指導医をピックアップ

NPO 法人民陵協議会　発行

Medical Specialist

vol. 16
2014. 春

けやき瓦版【メディカルスペシャリスト】

今井 紀昭先生

八戸市立市民病院　周産期センター

能わざるに非ず、為さざるなり

けやき瓦版【メディカルスペシャリスト】
2014年 春 第16号 発行=NPO 法人民陵協議会 事務局 〒980-8574 仙台市青葉区星陵町 1-1 TEL：022-717-7817 制作・印刷＝株式会社インセクト

Data

八戸市立市民病院　Hachinohe City Hospital

【病院概要】

病院長	三浦　一章
所在地	〒031-8555 八戸市大字田向字毘沙門平 1
TEL	0178-72-5111
FAX	0178-72-5115
E-mail	kensyu@hospital.hachinohe.aomori.jp
URL	http://www.hospital.hachinohe.aomori.jp/
病床数	584 床（一般 528 床、精神 50 床、感染 6 床）

【診療科目】 32 診療科

消化器	内視鏡科	消化器科	緩和医療科
化学療法科	呼吸器科	循環器科	腎臓内科
内分泌糖尿病科	神経内科	小児科	外　科
小児外科	形成外科	呼吸器外科	脳神経外科
心臓血管外科	整形外科	皮膚科	泌尿器科
産　科	婦人科	眼　科	耳鼻咽喉科
精神神経科	リハビリテーション科	放射線科	麻酔科
歯科口腔外科	乳腺外科	救命救急科	病理科

【病院の理念】

八戸市立市民病院は市民の生命と健康を守るため、常に医療の質の向上に努め、患者中心の恕［おも］いやりのある医療を提供します。

【学生へひとこと】

「医療は患者と共に始まり、患者と共に在り、患者と共に終る」これはウィリアム・オスラー博士の言葉です。医療の中心は患者様であることをよく認識して知識や技術の習得に励み、有能で思いやりのある医師に育たれることを望みます。

For the patient.臨床の現場では、自分が患者だったら今何を望むだろうかと常に問い、行動して下さい。病院では与えられることを待つのではなく、自ら積極的に学ぶ姿勢で研修に打ち込むことが大切です。あらゆる疾患を網羅している当院で研修することが優れた臨床医への道の1つであると信じています。

【研修の特色】

【臨床研修プログラム】
疾病に対する正しい判断、適切な検査、正しい評価をし、治療を行なうことができ、緊急を要する患者について自らが処置を施し、場合によっては専門医に委ねるなど的確かつ迅速な判断ができる臨床能力を修得させる。

【産婦人科プログラム】
産婦人科で必要な基本的診察法や基本手技のほかに、産婦人科救急の基本を修得する。また、女性特有の疾患や妊娠・分娩・産褥・新生児の生理・病理を理解し、適切な管理・治療ができるようになる。

●ここがポイント!
H24年度　初期研修医33名、3～5年目医師22名。
若手医師が輝く五ツ星病院だ。

詳細はHPへ
http://www.gonryo.com/guide/aomori/hachinoheshimin.pdf

【地域自慢】

八戸市の景勝地は良好に保存され、自然に親しむ人々の憩いの場。八戸市の代表的な祭には、春の「えんぶり」と夏の「八戸三社大祭」があります。中でも八戸三社大祭は、県南地方最大の祭で、日本一の山車まつりといわれています。8月1日の「お通り」と3日の「お還り」は、郷土色豊かな芸能や各町内から集まって来る山車が加わって延々 2.5㎞に及ぶ大行列となり壮麗豪華です。食べ物は新鮮な食材を簡単に手に入れることができるため、あまり手を加えずに、それ自体の味を楽しむ傾向があります。いちご煮、せんべい汁などの料理、八戸せんべい、鶴子まんじゅうなどの菓子類、いかの塩辛ほか種類の豊富な水産加工品、そして種類・量ともに豊富な魚介類などの味覚を楽しむことができます。

Gonryo
NPO法人 民陵協議会

NPO 法人民陵協議会は、卒業臨床研修の充実を図ることを通して研修医の指導医の要請と地域医療の発展を支援しています。個人・団体の正会員、賛助会員を募集しております。お気軽に事務局までご連絡ください。

事務局 E-mail　info@gonryo.com

臨床研修に関する情報は HP をごらんください。　民陵協議会HP ▶ http://www.gonryo.com

ほっとする一時

楽しいイベントやスポットをご紹介

焚久味（たくみ）

創作和食がメインのお店。固定のメニューはなく、季節やその日その時の旬の食材をあしらった創作料理が楽しめるお店です。何をいただいても美味しいですが、毎回メニューが違うのも大きな楽しみです。

奥入瀬渓流

休日はぷらっと十和田湖や奥入瀬渓流へドライブしたりします。渓流沿いには多くの滝があり、木々と川の流れに囲まれた素晴らしい景観のなかでのんびりできます。車道も歩道も整備され、紅葉も美しく、どんな時でも疲れを癒してくれます。

宮古島

毎年夏休みは宮古島へ旅行しています。透き通る海と白い砂浜はとても美しく、何度行っても最高の休暇が楽しめます。今年も絶対行きます!

安比高原ゴルフ場

休日の過ごし方の鉄板!　お隣岩手県のゴルフ場へよく遊びに行きます。車を走らせ、ゴルフをして帰ってくる。そういった出かけることが大好きです。

八戸市立市民病院　周産期センターの指導医、
今井 紀昭先生に聞く
産婦人科医を目指す若い研修医へのメッセージ。

今井 紀昭 先生

八戸市立市民病院　周産期センター

能わざるに非ず、為さざるなり

八戸市立市民病院での研修について

八戸市立市民病院は、今明秀先生が率いる救命救急センターが全国的に有名で、東北圏はもちろん、関東・関西・沖縄などからも多くの研修医が訪れます。ですから、日本全国から集まってきた多様で前向きな仲間達と研修期間を過ごすことができます。東北エリアではこのような研修病院は少ないため、大きな特徴となっており、全国規模の人脈づくりもできます。

また、当病院では基本的に3年研修を掲げており、既定の2年の研修を終えた後、さらに1年間、希望する科で研修ができる仕組みになっております（2年で移ることも可能です）。

ローテーションで回れる科も多く、様々な経験が積めます。症例数も多く、各科において手技的な研修も十分に行うことが可能で、充実した研修になると思います。

産婦人科研修について

八戸市立市民病院の産婦人科研修の特徴は、その症例の多さ、多様さです。分娩数はここ数年急増しており、現在では年間１３００件近くなっており、双胎も30件前後あります。様々なケースの妊娠・分娩を経験しながら充実した研修を積めます。また、産科は唯一病気でない人々が訪れる科でもありますから、その雰囲気は明るく、「また来てね」と心から言える科であり、前を向いて研修していけるのが大きな特徴だと思います。婦人科は子宮筋腫、卵巣腫瘍や子宮内膜症といった良性腫瘍、性器脱や悪性腫瘍も数多く扱っています。手術の例数も年間５００～６００件（帝王切開を除く）と多く、腹腔鏡手術などにも積極的に取り組んでいます。

患者第一

基本にあるのは患者さんの安全です。新しい技術はどんどん出てきます。多くを学び、吸収し、常に自分を磨いてくことを怠ってはいけません。しかし、背伸びをし過ぎて患者さんに迷惑がかかるようなことはあってはならないのです。まずは患者さんの安全。これを大切にしながら、自分自身を向上していけるよう心がけています。

能わざるに非ず、為さざるなり

物事を実現できないのは、それが不可能だからではなく、やろうとしないからであるという意味の漢文です。できないのは不可能だからではなく、それをしない、ないしは、挑戦しないからできないわけであり、「できない」と言うのではなく、まずは少しずつでもやろうしていく努力こそが大切だと思っています。人として、医師として私が大切にしている言葉です。

たくさんの仲間に出会えること

八戸市立市民病院は、全国的に見ても研修医の受け入れ態勢が充実しており、日本全国から生まれも育ちも違う研修医が集まってきます。多くの仲間と切磋琢磨しながら、生活し、研修していくことは何にも代え難い経験になることでしょう。

とにかくいろいろやらせる

二にも三にも、とにかく多くの経験を積んでもらうために、どんどんやってもらっています。見ているだけではだめです。自分で手を動かし、そのなかで学んだことこそ本当の研修だと思っています。症例数も豊富ですから、たくさんのことを、その手で学ぶことができます。それが大切です。

周産期医療

病院のなかで一番明るく一番前向きで笑顔が絶えないこの分野を、私は一番いいなと思っています。もちろん、いろいろ大変なシチュエーションはありますが、生まれてくる赤ちゃんと、お母さんたちの安全をしっかり守り、多くの笑顔に囲まれるよう、やりがいを持って頑張っています。

よく学び、よく遊べ

仕事は大切です。研修医の時は努力を惜しまず学び、患者さんや指導医から多くのことを吸収していかなくてはなりません。しかし、それだけでは疲れてしまいますし、人間としての成長も望めません。多くの仕事をし、多くを学んだ後はしっかり休んで、遊んで、リフレッシュして、また患者さんのところへ戻って欲しいと思っています。

産婦人科は休みがない印象がありますが、当院ではしっかり休みが取れる体制で研修を行なっています。よく学び、よく遊び、人間的にも成長していける研修にして頂きたいと思います。

全国的に認知度が高く、多くの医師が集まる八戸市立市民病院の研修は、充実したものになると思っています。全国の多くの仲間との人脈をつくりながら、よく学び、よく遊び、楽しい研修生活を過ごしてください。

質問 1. 医師としてのモットーは？

患者第一

質問 2. 若手医師指導で大切にしていることは？

とにかくいろいろやらせる

質問 3. 医師を目指す人へのメッセージ

よく学び、よく遊べ

研修医 voice

髙橋先生（左上）、吉田先生（左）、大野先生（中）、成田先生（右）

産科は他の科と違い、必ずしも病気の人が来るとは限りません。ですから、積極的に患者さんにアプローチして、状況を見極めることが大切な科だと思います。今井先生はとても尊敬できる先生で、多くのことを学ばせて頂いております。

昨年、私も妊娠・出産をしましたが、今井先生に取り上げて頂きました！　ありがとうございます！

仕事は忙しいですが、休暇もしっかり取らせてもらえますし、全国の多くの仲間に囲まれ、本当に楽しい研修をさせて頂いております。ここにして本当に良かったなと思っています。

病院選びは迷いましたが、救急救命センターが有名で、全国から多くの研修医が集まるここに決めました！　先輩の研修医が責任感を持って前向きに研修に取り組む姿勢に感銘しました。待遇も良く、とても良い病院です。

今井 紀昭 先生　Profile

1973年	愛知県生まれ
1999年3月	東北大学医学部卒業
1999年4月	東北大学産婦人科入局
1999年7月～	由利組合総合病院産婦人科
2001年4月～	竹田綜合病院産婦人科
2002年4月～	東北大学病院産婦人科
2006年4月～	気仙沼市立病院産婦人科部長
2008年7月～	東北大学産婦人科助教
2010年2月～	八戸市立市民病院周産期センター長